

2011年5月30日

株式会社日立メディコ

執行役社長 三木 一克

中国・蘇州市に新工場を建設 医療機器市場の二極化に対応した事業構造の構築

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、執行役社長:三木 一克、資本金:138億8千4百万円、以下 日立メディコ)は、このたび、新興国向け製品の生産拡大に対応するため、子会社の日立医療系統(蘇州)有限公司(以下 蘇州工場)を通じて、中国・蘇州市に新工場を建設します。

1. 背景

現在、医療機器市場では先進国を中心とした高性能・上級機、新興国を中心とした低価格・普及機という二極化が進んでおり、日立メディコは、二極化に対応した事業構造の構築を進めています。

具体的には、高性能・上級機は、主力工場の柏事業場で設計・開発・生産を行い、内作率を高め、生産リードタイムを短縮し、生産効率の向上を図っています。また、日立グループの総力を結集し、ブレイクスルーとなる新製品・新技術の開発及び新事業の開拓を推進しています。

一方、低価格・普及機は、2002年に中国・蘇州市に生産拠点を構築し、X線診断装置や超音波診断装置の普及機生産に取り組んできました。また、2008年には同工場の敷地面積を2倍に拡張し、中国製永久磁石を用いたMRI装置の生産拡大を図ってきました。

2. 概要

このたび、将来の新興国向け製品の生産拡大に対応するため、中国・蘇州市に新工場を建設することを決定しました。新工場は、2011年3月に現在の工場と同じ蘇州工業園区内に130,000㎡の土地使用権を取得し、本年10月に建設着工、2012年8月に完成する予定です。

新工場では、最新の生産設備と生産方式で生産効率を上げ、中国現地調達を主体とし、新興国向けの製品を量産する計画です。また、製造人員だけでなく、設計人員も大幅に増強し、中国を含む新興国向け製品の企画・設計も新工場で行い、研究開発に関しては、新工場の設計部門が中国国内の大学群や日立(中国)研究開発有限公司*の上海研究拠点と共同で推進していく計画です。

さらに、新工場には、将来的に新興国向け新製品の展示施設、中国を含むアジア地域の営業員・サービス員の教育・訓練施設も併設し、「アジア開発センタ」の位置づけで運営していく計画です。

3. 投資金額

今後2年をかけて工場建屋建設や生産設備投資を行うことといたしました。

借地権(50年使用权) 6億円

工場建設費 約19億円

その他工場設備 約5億円

なお、投資資金は日立メディコからの増資であります。

4. 蘇州工場の概要

- (1) 会社名: 日立医療系統(蘇州)有限公司
- (2) 所在地: 中国江蘇省蘇州市工業園区蘇虹西路 185 号
- (3) 設 立: 2002 年 3 月
- (4) 資本金: 87,379 千人民元
- (5) 董事長: 三木 一克
- (6) 總經理: 田村 讓一

*: 日立グループの中国における中核会社である日立(中国)有限公司が全額出資している子会社です。中国発新規事業の積極的創生、中国の研究開発力・人材の活用、中国におけるさらに広範な事業展開・研究開発の促進、日立グループ関連会社への研究開発拠点機能の提供、日立製作所の研究開発のグローバル拠点としての基盤確立を目的として、2005 年に設立されました。



【新工場完成イメージ】

■ 報道機関お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 法務・コミュニケーション部 【担当: 吉井、貝間】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8809

以上